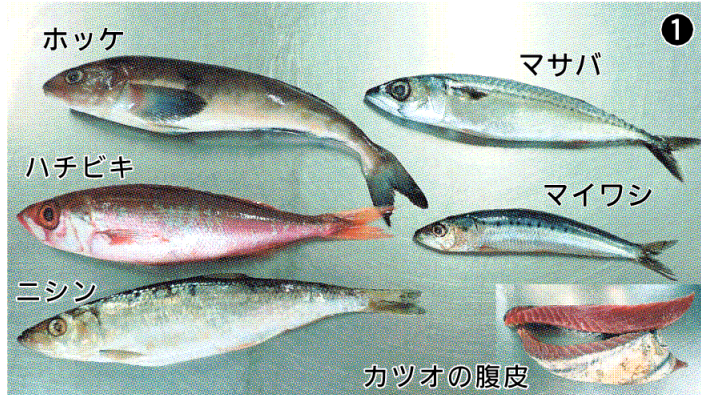




① 健康状態や季節に合わせてさまざまな種類の魚を与えます
 ② 奥にある機械で作った消毒水を使い、ニシンを洗う様子
 ③ サバに金属探知機を当てて釣り針がないかを調べます
 ④ 全ての処理を終えたらイルカに与えます

かごしま水族館のイルカたちはハ
 ンドウイルカです。8頭おり、体
 長2.5〜3.8m、体重180
 300kg。水中を高速で遊泳し
 たり、水面に高くジャンプしたり、
 とても活発に行動します。
 イルカたちのエネルギー源となる
 餌は、栄養バランスを考え、マサ
 バやニシン、マイワシ、ホッケ、ハ
 チビキ、カツオの腹皮などいろい
 ろな種類の魚を与えます。1日当た
 り、子どものイルカで6〜7kg、
 大人のイルカで14kgの量を5、6
 回に分けて与えています。
 餌の量は、個体ごとの健康状態
 や月2回測定する体重のほか、気



イルカの餌 健康状態や季節で調整

温、水温などの環境変化を考え、カ
 ロリーを計算しながら決めます。冬
 場は寒さに耐えられるよう餌の量
 を増やし、皮下脂肪をつけさせます。
 逆に夏場は減らし、皮下脂肪を減ら
 すようにコントロールします。

餌は鮮魚ではなく冷凍を使いま
 す。台風などの悪天候で長期間魚
 が取れない時でも、冷凍魚であれば
 安定的に大量にストックできるた
 めです。冷凍すると、魚の体内に
 いる寄生虫が死ぬので、餌からの
 感染を予防することもできます。

解凍後はすぐに消毒水で洗い、
 表面を殺菌します。塩水を電気
 分解して作る安全な水です。金属探
 知機を使って、釣り針をのみ込んで
 いないかも確かめます。体に傷が
 ないか、腐敗していないかを、よく
 見て臭いをかき、確認します。

餌がイルカの口に入るまでには、
 飼育員はこのようにさまざまなこと
 に気を配っているのです。
 (海獣展示係飼育員・大瀬智尋)